

平成 25 年度の内部被ばく検査の結果

平成25年度においては、4月から消防団員や水道等の復旧作業に従事した方、6月からは震災後ライフラインの復旧作業に従事した方や事故当時19歳から39歳までの方、9月からは4歳未満の子ども、12月からは事故当時40歳以上の方の検査を実施してきました。

平成25年度の検査結果は次のとおりです。

なお、受検者**18,678**人の預託実効線量は、全員が、健康に影響がないとされている1 mSv 未満であり、検出限界値を下回った方は、全体の99.3%となっています。

区 分	対象者数	受検者数	預託実効線量 1 mSv 未満		最大 預託実効線量	受検率
				うち不検出		
24年度までの未受検者	17,789	353	353(100%)	353(100%)	—	2.0%
4歳児	3,926	2,090	2,090(100%)	2,089(99.9%)	0.03059mSv	53.2%
新たな妊婦	2,628	100	100(100%)	100(100%)	—	3.8%
消防団員	3,716	257	257(100%)	248(96.5%)	0.04705mSv	6.9%
水道関係	1,000	178	178(100%)	173(97.2%)	0.01207mSv	17.8%
ライフライン関係	1,416	369	369(100%)	362(98.1%)	0.01414mSv	26.1%
19～39歳	80,194	6,001	6,001(100%)	5,985(99.7%)	0.02211mSv	7.5%
4歳未満児	6,816	1,278	1,278(100%)	1,278(100%)	—	18.8%
40歳以上	203,729	6,157	6,157(100%)	6,064(98.5%)	0.08167mSv	3.0%
市実施分計	321,214	16,783	16,783(100%)	16,652(99.2%)	—	5.2%
県実施分計	—	1,895	1,895(100%)	1,894(99.9%)	—	—
全 体	321,214	18,678	18,678(100%)	18,546(99.3%)	—	5.8%

※ 預託実効線量は、体内から受ける内部被ばく線量の累積線量(成人は50年、子どもは70歳まで)

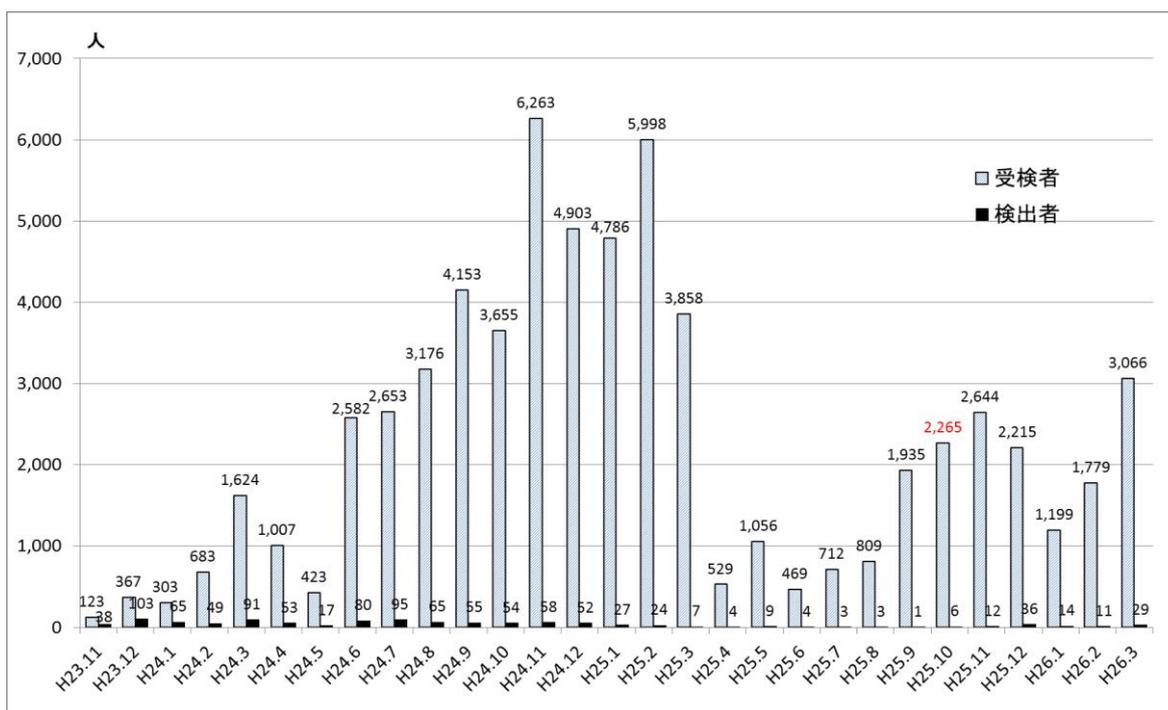
※ 検出限界値は、セシウム134=200ベクレル、セシウム137=220ベクレル(検出限界値を預託実効線量に換算した場合、「3～7歳」の例で示すと、0.058mSvとなります。)

(参考 これまでの検査結果)

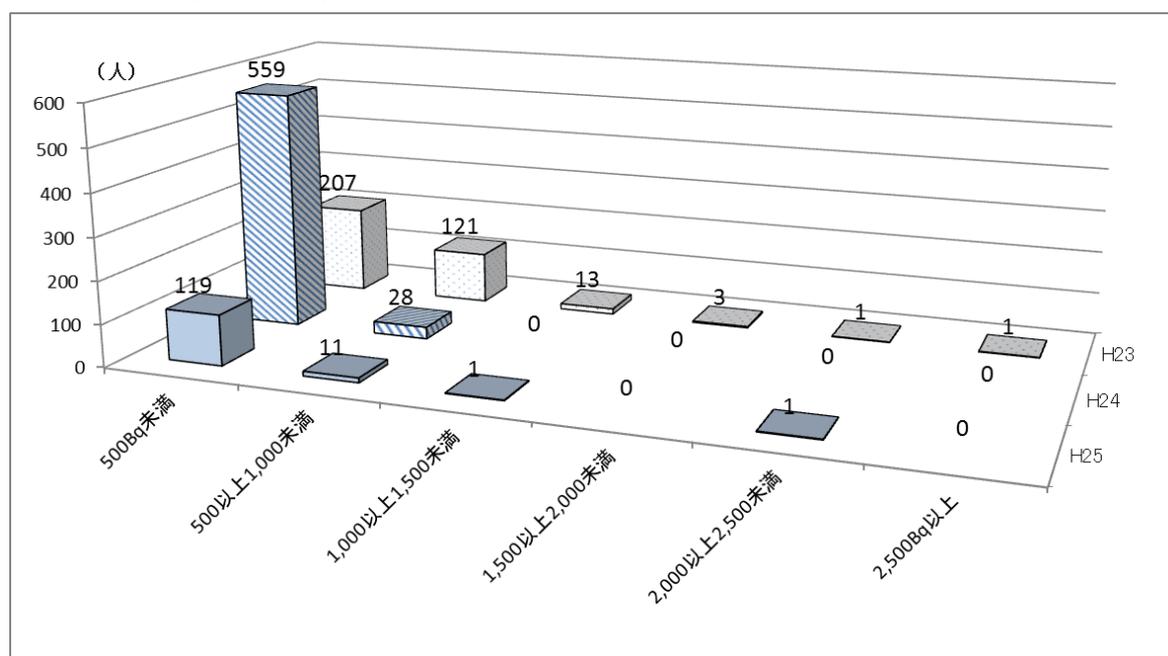
年度別受検者数の推移

年度	受検者数	預託実効線量	
		1mSv 未満	うち不検出
H23	3,100	3,100 (100%)	2,754 (88.8%)
H24	43,457	43,457 (100%)	42,870 (98.6%)
H25	18,678	18,678 (100%)	18,546 (99.3%)
計	65,235	65,235 (100%)	64,170 (98.4%)

月別受検者及び検出者の推移



年度別・検出値別検出者数の推移



※ 検出値はセシウム134とセシウム137の合算値